

Okta AI

人工知能 (AI) は日進月歩を遂げています。企業にとって、AI は数十年に一度の可能性の飛躍を意味し、効率性と俊敏性の新たな機会となると同時に、イノベーションも加速させます。

しかしながら、犯罪者も AI の可能性を見逃すはずはありません。AI は、フィッシングなどの古い戦術に新たな命を吹き込みました。組織は今、AI を活用する新しい創造的な方法を模索しつつ、AI を活用する新たな戦術による攻撃から保護するという、2つの課題に同時に直面しています。

アイデンティティ管理のプロバイダーである Okta は、この課題を十分に理解しています。AI がビジネスで果たす役割はますます大きくなっています。開発者の俊敏性の向上や市場投入までの時間の短縮、さらには、新旧のさまざまなセキュリティ脅威からの保護に役立つツールに、AI が活用されるようになっていきます。

本データシートでは、AI を活用した、Workforce Identity Cloud と Customer Identity Cloud の多くの機能を紹介し、Okta にとっての AI の中核的理念も簡単に説明します。Okta は AI を前向きに捉え、AI が革新的テクノロジーであるだけでなく、AI で可能になる新たなセキュリティの脅威にも対抗できると信じています。

攻撃者による AI の活用

大規模フィッシング

生成 AI ツールを悪用することで、多くの場合に標的に合わせてコンテンツをカスタマイズし、説得力のある本物らしいフィッシングメールを数秒で作成できます。

合成プロフィール

攻撃者は、AI を利用して精巧な顔写真を作成し、フィッシング攻撃に悪用する確度の高いプロフィールを作成できます。

模倣

一部の AI ツールは驚くほど正確に人間の声を模倣できるため、ビッシング (音声フィッシング) 攻撃を実行する攻撃者が企業の重役になりすますことができます。

カスタムコード

生成 AI のソフトウェアを記述する能力を悪用することで、攻撃者が数分で迅速かつ効果的にエクスプロイトを作成できてしまう可能性があります。

CAPTCHA バイパス

AI であれば、人間と自動化されたユーザーを区別する目的で利用されている CAPTCHA パズルをバイパスできます。

Okta による AI の活用

Workforce Identity CloudにおけるOkta AIの活用

電話料金詐欺防止システム

Okta は、カスタム機械学習 (ML) モデルを使用して、攻撃者が MFA フローでプレミアム料金の電話番号を使用しようという試みを特定することで、組織を詐欺や過度な電話料金から保護します。

ThreatInsight

Okta のお客様のネットワーク、管理者、エンドユーザーのデータを活用して、資格情報を悪用した攻撃から保護します。Okta 独自の機械学習モデルで、組織が攻撃を受けているかどうかを検知し、これまで以上に迅速に悪意のある IP をフラグ付けします。

アダプティブ多要素認証 (MFA)

認証要求が発生する、絶えず変化するコンテキストを考慮することで、さらなるインテリジェンスをアイデンティティフローに追加します。アダプティブ MFA は、セキュリティと認証のポリシーを動的に適応させることで、組織のセキュリティ態勢とユーザーエクスペリエンスを同時に向上させます。

Policy Recommender

2024 年第 1 四半期に限定早期アクセス

Okta の広範なエコシステムから収集したインテリジェンスとセキュリティのベストプラクティスに基づき、パーソナライズされた提案とテンプレートを提供します。これにより、デバイス態勢チェックやフィッシング耐性のあるオーセンティケーターなどの、セキュア認証プラクティスのセットアップが効率化されます。

Log Investigator

2024 年第 3 四半期に限定早期アクセス

自然言語処理 (NLP) テクノロジーを使用することで、管理者は、Okta のデータについて平易な英語で質問し、アイデンティティ態勢の履歴コンテキストについての洞察を得ることができます。これにより、異常な活動や不審な活動を簡単に特定できます。

Identity Threat Protection

2024 年第 1 四半期に限定早期アクセス

AI を活用した継続的なリスク評価により、ログイン時とアクティブなユーザーセッションの両方でセキュリティポリシーを適用することで、不正アクセスやセッション乗っ取りなどの認証後の脅威の可能性を軽減します。

Governance Analyzer

2024 年第 2 四半期に限定早期アクセス

意思決定者に、レビューやリクエストの価値あるコンテキストや推奨事項を提示することで、認知面で負担を増大させることなく、最高品質のガバナンス判断を可能にします。

Customer Identity Cloud における Okta AI の活用

ボット検知

機械学習モデルを使用して 60 以上の入力を取り込み、人間のユーザーと自動化されたユーザーを分離することで、正当な活動の中断を最小限にしつつ、ボットのログイン試行を最大 79% ブロックします。

アイデンティティ脅威レベル (ITL)

Okta のお客様から収集して匿名化した観測結果とデータパターンから、すべての CIAM における顧客ログインフローで観察されるボット活動のレベルを示すアイデンティティ脅威レベル (ITL) スコアを算出します。マイクロサイトでは、自社の情報を入力して、特定の業種や地域を加味したスコアを表示できます。また、属性をさらにフィルタリングしたり、詳細レポートをダウンロードしたりといった機能も利用できます。

Tenant Security Manager

2024 年第 2 四半期に限定早期アクセス

スナップショットアラートとダッシュボード通知による「インテリジェント」なセキュリティの推奨事項を付加して攻撃保護の機能を強化することで、テナントのセキュリティ態勢を改善します。

Guide

2024 年第 4 四半期に限定早期アクセス

Okta Customer Identity Cloud のガイド役として豊富な知識を提供するこの機能は、平易な英語で包括的なオンボーディング支援を提供し、ユーザーが実行すべき最良のステップを直感的に提示することで、最も価値のあるワークフローへとシームレスに誘導します。

Actions Navigator

2024 年第 2 四半期に限定早期アクセス

インテリジェントな検索を簡単な操作で実行できます。検索キーワードがインテグレーションのタイトルや記述に含まれるキーワードと異なる場合も、指定した検索に基づいてマーケットプレースの適切なインテグレーションを検索します。さらに、そのアクションやインテグレーションが存在しない場合は、AI ツールを利用して、ユーザーの検索 / プロンプトに基づいてアクションを記述し、それを反復して条件を追加したり、ビジネスロジックを修正したりできます。

Brand Customizer

2024 年第 4 四半期に限定早期アクセス

1 ページのテンプレートをデザインして、必要な他のすべてのテンプレートにそのデザインを適応することで、ブランドをカスタマイズできます。スクリーンショットやロゴを指定して、カスタマイズ可能なテンプレートを作成することもできます。

Identity Flow Optimizer

2024 年第 4 四半期に限定早期アクセス

Funnel Analytics AI ツールは、テナントのすべての認証データを分析し、カスタマーエクスペリエンスやサインアップフローなどを改善するための推奨事項を提示します。

重要な統計

79%

AIを活用することで、Oktaは、自動ログイン試行の79%をブロックし、ボットトラフィックを90日間で90%削減できます。

20%

Oktaの電話料金詐欺対策機械学習モデルで、音声/SMS不正ランザクションの検知が20%向上します。

Oktaの見解

私たちは、新たな技術革新の真っ只中にいます。いずれは、AIがスマートフォンやクラウドと同じくらい重要になり、これまで以上に優れ、スマートで、高性能のソフトウェアが出現し、エンジニアは、高度な機能を瞬時に提供できるようになるでしょう。

AI時代は始まったばかりですが、AIは、Oktaの Workforce Identity と Customer Identity 製品におけるユーザー保護のあり方を変えただけでなく、ユーザーエクスペリエンスや開発者の俊敏性も向上させました。そして、さらに多くの組織に同様のメリットがもたらされるようになるはずで

犯罪者もAIを利用しており、今後もAIで活動を拡大させ、さらに高度なパーソナライズによって効果を高めた攻撃を仕掛けるようになるでしょう。しかし、Oktaは状況を悲観的に捉えることなく、今後もAIを活用し、ユーザー、企業、組織を保護する効果的な対策の構築を継続していきます。

詳しくは Okta の共同創業者である CEO、Todd McKinnon によるこちらの [記事](#) をお読みいただき、Okta AI を活用して AI の未来を推進し、テクノロジーがもたらすリスクから保護する方法をご確認ください。

* 本資料で言及される現時点で提供されていない製品、特性または機能は、予定通りに提供されない、またはまったく提供されない可能性があります。製品ロードマップは、製品、特性または機能の提供に対する言質、義務、または約束を表すものではなく、これらに基づいて購入の意思決定を行うべきではありません。

出典:

1. [Battling Bots: Introducing the Identity Threat Level \(ITL\)](#)
2. [How Okta uses machine learning to automatically detect and mitigate toll fraud](#)

Okta について

Okta は、アイデンティティ管理を主導する独立系プロバイダーです。Okta Identity Cloud によって、適切なユーザーが適切なテクノロジーに適切なタイミングで安全に接続できます。Okta は、全世界の人々と組織にシンプルで安全なアクセスを提供し、自信をもって潜在能力を最大限に発揮できるよう支援しています。詳しくは okta.com/jp/ をご覧ください。